

うきは

2021.7.1
No.378

掲載記事は6月18日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 後期高齢者保険料額の決定通知の送付
- 4~5 子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）・（ひとり親世帯分）／
新型コロナ関連傷病手当
- 6 社会課題解決プロジェクト事業費補助金／DX促進補助金
- 7 宿泊・日帰り助成金／5月入札結果
- 8 特別弔慰金の請求／企業版ふるさと納税
／令和2年度スポーツ表彰
- 9 野外焼却の禁止／創業スタートアップ
セミナー
- 10~11 暮らしのカレンダー
- 12 同和問題啓発講演会／ペップトーク講演会
- 13 耳納風土記
- 14 うきはアリーナ各種募集、再生工房料理教室
- 15 緑づくり推進事業の要望募集／無料職業紹介所／夏休み子ども企画「森のたんけんと川遊びをしよう」
- 16 図書館だより
- 17~19 広域情報／有料広告
- 20 お誕生日おめでとう／まちの話題



ポリ袋と鍋で炊飯!

吉井小学校では、今年度から週に1回、総合的な学習の時間を使い防災学習を始めています。6月3日の防災学習では、市内の防災士江藤武夫さんが講師となり、6年生35名に、避難所へ持っていく非常持ち出し品のチェックや、災害時の非常食作りを教えました。児童には授業の前日に「あす学校に避難するなら何を持ってくるか」という課題が出され、各々考えて水や缶詰、タオルなどを持参していました。江藤防災士は、「皆が持参したのも必要ですが、最も大切なものは携帯トイレです。断水で使えないことが多い、また、カセットコンロもとても役に立ちます。ガス缶は約7年で買い換えを行うことが大事です。」と教えました。

非常食作りでは、ポリ袋に米と計った水を入れ、空気を抜いて袋を結び、沸騰した鍋で30分ほど茹でご飯をつくりました。初めての体験でしたが、昼食時には、「意外と美味しい」「上手にできた」と話してくれました。江藤防災士は最後に、「この体験を家族や周りの人たちに伝え防災意識を広めてください。」と児童たちに伝えました。